

2025 年 2 月 8 日

外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「学習教材としての診療画像の利用の検討」 への協力をお願い

高次救命治療センターでは、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004 年 6 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に、当院においてレントゲン検査、CT 検査、MRI 検査、心電図、超音波検査、脳波検査を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：救急集中治療診療の研鑽を積むことにおいて様々な疾患の患者さんを診療することは重要ですが、症例数が少なく希少な疾患の場合、実際に経験することが困難な患者さんもいらっしゃいます。その画像やデータを共有して学生や研修医をはじめとする医療者と学ぶことができれば、今後多様な疾患に対して正しく状態を把握することが可能になり、医療者の診療技術の向上役立つと考えます。また、疾患を多くの市民に啓蒙によりそれらを予防することが可能となれば、社会的な意義は大きいと考えます。そこでこれらの診療で得られた検査画像を教育を目的とした教材として使用させていただきたいと考えています。

研究に用いる情報の項目：

レントゲン検査、CT 検査、MRI 検査、心電図、超音波検査、脳波検査、デジタルカメラで撮影した画像、採血データ

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025 年 4 月 1 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
氏名：三宅 喬人

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
電話番号：058-230-6448
氏名：三宅 喬人

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp